

1 目的

地域の農家や農業関連施設での農業体験を通して農業技術や経営を学び、農業への関心や資質を高め、さらに地域農業の実態を理解することで就農への意欲が向上する。

地域の農業研究機関や関連施設で研修することにより、農産物の加工や流通について理解を深める。

2 実施状況

(1) 勤労感謝祭

生徒が大切に育てた黒牛や黒豚、草花・野菜を通して生命の尊さや感謝の気持ちを確認する。

また、日頃の学校の実習や授業の取組を黒豚肉のバーベキューやレクレーションを行うことで、農業の楽しさや苦勞など、友達・先輩・後輩との時間を共有し、就農意欲向上につなげる。

生徒たちはこの学習活動の中で、日頃の授業の内容や実習の大切さに気づき、また1・2年生は自分の進路について就農や農業関連産業も視野に入れて考えるようになる。



勤労感謝祭

(2) 明日の営農を語る会

3年生のうち、将来就農する生徒や農業関連産業に就職する生徒たちが、関係機関の方々と将来についての意見交換をし、今後の農業について語り合っていく。

また、関係機関の方々の励ましの言葉や意見を聞くことで自分の進路について考える。

1・2年生は、この意見交換や発表を聞くことで、就農意欲や農業への関心が深まり、日頃の授業への取組が向上する。



明日の営農を語る会

3 今後の課題、取組

生徒たちが、卒業して地域の農業への貢献のため、就農意欲が向上して生徒がより一層積極的に学習できるよう、事業への取組を模索しながら、関係機関と連携することで教育活動を活性化させ、生徒たちの就農への興味・関心を高めていく。